



やさしくされると やさしくなれる！！

～子どもたちの優しさに触れる～

校長 島野 歩

7月、文月。梅雨を迎えて雨の日も多くなってきましたが、正門に咲き並ぶ朝顔は雨にぬれて一層鮮やかさを放っています。夏休みまであと2週間。1学期の学習のまとめをしっかりと積み重ねてまいります。



本校の学校説明会では、全体会の際に未就学のお子様を6年生の子どもたちが一緒に遊び触れ合う、という伝統があります。令和6年度第1回のときは、「楽しく遊べるかな」「飽きちゃったらどうしよう」と緊張した面持ちだった6年生も第3回を迎えた先日は、もう余裕の表情。「また一緒に遊ぼうね」「待ってるからね」・・・手をつなぐ仕草も微笑ましい。なんて優しいのでしょうか！そばで見ている私まで、ついにつっこりしてしまいます。

1年生の育てている朝顔が咲き誇り
毎朝、子どもたちの登校を花々で迎えて
くれます。幸せ気分です。



また今週は、1年生の各教室に、幼稚園年長さんが体験入学として遊びにきてくれました。

年長の子どもたちより、むしろ緊張しているのは、1年生のほうです！あれ！いつもの元気炸裂は！！と思いきや、授業が始まるとすっかりお兄さんお姉さん。元気はいつものままで、優しくお勉強を教えてあげている姿に感激でした。いつもは、2年生以上の先輩たちに思いっきり甘えている1年生とは違う姿です。「もっとゆっくりでいいよ」「手伝ってあげるね」声かけもとびきり優しい！！さすがです。

子どもたちの姿を見ていて思います。

「やさしくされると、やさしくなれる！！」

日常的な生活から、縦割りで動くことの多い本校では、誰もが上の学年から、お世話してもらったり、助けてもらったりを経験して大きくなっていきます。

優しさの経験が優しさを生み出していくのです。

春の「たねやさん」

「たね」はひとつひとつ小さな生命です。

大切に育ててください！

「たねやさん」で願うこと

今年もやってきました！「春のたねやさん」！

4月23日(火)～5月2日(金)、学年ごとに曜日を割り振って開催しました！

春まきのひまわり、かいわれ、オクラ、クローバー、フウセンカズラ……たくさんの「たね」たちが、
たくさん子どもたちにもらわれていきました。

「たね」は、それぞれ形も色も全く違います。でも、ひとつひとつ小さな大切な生命。

毎年毎年、「先生、エンドウの種できたよ」「人参こんなに大きくなりました！」……子どもたちの
報告がとても嬉しく幸せに感じます。

「たね」を育てながら、育てているのは、実は子どもたちの心です。

なぜなら、小さな「たね」から、花を咲かせるまで、実をつけるまで育てるのは、決して容易なことでは
ないからです。毎日、お水をやったり、様子を見たり、それはそれは、お世話が大変です。

何日か、お世話を怠ると、枯れて死んでしまいます。生命だからです。

だからこそ、責任をもって毎日コツコツ こつこつ……この苦労があるから、お花が咲くと
うれしい！そして、実がなって「たね」ができると、とびあがるほどうれしい！

この経験は、子どもたちが迎えるさまざまな経験に生かされていきます。粘り強く毎日こつこつ
あきらめずに積み上げること……とても大切なこと！まさに子どもたちの心に大輪の花が
咲くことに通じるのです。子どもたちの成長を、これからも応援しています。



自発的に
「たねやさん」を
手伝ってくれる優しい
子たちがたくさん！
本当にありがとう！



1学期 TOKYO GLOBAL GATEWAY

We enjoy speaking English!

6月4日(火)には3、4年生が、6月7日(金)には5、6年生が、令和6年度第1回 TOKYO GLOBAL GATEWAY へ出かけました。All English の一日に、日ごろ学んでいる英語の力を試すには絶好の機会です。通じるとうれしい！通じないとくやしい！コミュニケーションツールとしての「英語」がここから日常のモチベーションにつながることを願っています。

一人一人与えられる細かなミッション。英語でできるだけ詳しく状況や希望を伝えてミッションをクリアしていきます。とても「どきどき！」でも不思議と「わくわく」…さまざまな生活の場面の設定で、「使える英語」「話せる英語」を目指していきます。

どんどん話そう！
English!
楽しくなる！
わくわくする！



「AERA English」から取材いただいた本校の記事が
このたびも昨年度に引き続き3ページにわたり
掲載が予定されていますこと、ここにお知らせいたします。(7月発売予定)

いよいよ学期末！
あらためての
お知らせです！

通知表 所見が変わります

コンセプト

「学びを子どもに返す！」

これまでの本校の通知表は、どちらかという「教師側」からの発信であり、
子どもたちにとっては
「インプット」する受動的な存在、それが「通知表:あゆみ」でした。



しかしながら、**学びや評価はもっと能動的であっていいと考えます。**

子どもたち自身が、評価をどう受け止め、
それを今後はどうつなげていくのか、

自分自身で考え、「じぶんごと」として「アウトプット」できる通知表にしたいと考えました。



そこで、令和6年度からの通知表を以下のように改訂いたします。

- 今まで担任が記録していた所見を「1年間の子どもの成長の記録・今後の課題の記録」と位置づけます。
- 上記の位置づけから
 1. 2学期は所見はありません。今までの所見スペースには、子どもたち自身が学びの振り返りを記入。所見に代わるものとして、日々の主だった成長や課題はコドモンにて必要に応じて個々にご連絡します。
 1. 2学期の個人面談は、必須面談といたします。(オンライン可)3学期は、希望個人面談。(従来通り)
 - 3学期は所見があります。1年間の子どもたちの成長や課題を今後につながるよう担任から発信します。
- 通知表が形骸的なものにならぬよう、子どもたち自身の 今後の「学び」の励みとなりますようお願いしています。ご理解の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

こちらの欄に、今回受け取った評価をみて、
今学期頑張って成果があったこと、一方では
自身の課題としてもっとがんばらなくては
いけないと感じること、学習のみならず、
生活態度も含めて、感じたこと、考えたことを
子どもたち自身で記録していただきます。
提出は、学期明けとなります。

◆保護者の皆様からのアンケート(4月20日)

お声をお寄せいただき心から感謝申し上げます◆

～保護者の皆様の声・声・声（一部抜粋）～

*たくさんのお声をありがとうございます。本来であれば、いただいたお声を全て掲載させていただきたいところではございますが誌面の関係上、大変申し訳ございません。しかしながら、いただいたお声は、全教職員と全て共有させていただき、今後の教育活動に活かしていくべく検討してまいります。お声を寄せてくださいましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

○授業参観の時間帯が幅広かったので、混雑もなく観やすかったです。

子どもたちが講堂を退出するときのお辞儀と一礼、帰りのお約束など入学して2週間弱とは思えないほど礼儀をきちんとしていたことに感心しました。先生方のご指導の高さが伺えました。



○我が子が「毎日楽しい！」と学校から帰ってくる理由が授業参観をして

よくわかりました。先生のお話が引きつけられる！面白い!!例えがあり

わかりやすかったです。先生のお話に注目しなくてはならないときに

「静かに！先生の話聞いて」ではなく、先生の仕草ひとつで一瞬で静かになったのには、感動しました。



○ロッカーの扉がなくなっても、みんな整理整頓ができており感心しました。

先生のご指導のおかげだと思います。

○ロッカーの扉を外し、見えるようにされたことは、安全面だけでなく、一人一人の

意識向上にも結び付いていると思いました。⇒上記ふたつのご意見のように、ロッカーの扉を外したことが、安全面の上でも子どもたちの動きや意識の上でも、向上につながっているとお言葉を複数いただきました。ありがとうございます。

○廊下や階段等、どこですれ違っても、子どもたちの挨拶が元気で気持ちよく、素晴らしいと思います。

○子どもたちの挨拶がいつも気持ちよく明るく元気で、さすが「文教っ子」と感じました。

●上級生からもっと元気な挨拶が聞けるとよかったです。⇒縦割りを大切に取り組んでいる本校では上級生がいろいろな場面で頼もしい存在です。挨拶においてもお手本になってくれていると思いますが、さらに意識が高まるよう、指導を続けてまいります。

○1時間目から4時間目まで全ての授業を楽しく参観させていただきました。先生の教えてくださる内容、子どもたちの取り組みの表情、本当に感動いたします。息子がよく「先生が教えてくれると、“難しいから楽しい”に変わるんだよ」と話しており、そのことが体感できました。私も楽しかったです。

○ハイブリッドで授業参観に出席できるのはとてもよかったです。

○休み時間、1年生の教室に2年生が遊びにきてくれたことに感動しました。

○先生が、子どもたちから愛されていることが、よくわかりました。

○遠足の話し合いでは、自分たちが下級生を引っ張るという自覚を感じました。

主体性、主導性が身につく授業であり、本校の良さが詰まっていると思いました。

○発表がある授業では、毎回必ず「お友達のよかったところを褒め合う」という時間があり、人の良いところを見つけて伝えるのは素敵な取り組みだと思いました。コミュニケーションの基本の「褒める」を我が子にもたくさんすべきところを、つつい子どものできない点や短所に目が行きがちの自身の育児への気づきにもなりました。



●教室の制服をかける場所の上に、段ボールが置かれてあり（空ならばよいのですが・・・）地震の際は落下の可能性があるのではと思いました。

⇒重要なご指摘ありがとうございます。ご指摘はおっしゃる通りだと思います。今一度、学校全体を見直し、落下の恐れのあるものはないか、子どもたちにとって安全第一の教育環境になっているかを教職員全員で見直してまいりたく思います。

●オンラインで参加されている方でミュートにされていない方がいらっしゃいました。

⇒学校側でも、授業前に声かけをしてみたいと思いますが、授業の合間には確認が難しいため、保護者の皆様、ミュートのご協力をぜひともよろしくお願いいたします。

○Zoomで出席させていただきました。発表する子どもたちの声がきれいに聞こえて雑音もなく聞き取りやすかったです。父親がはじめて学校に行きましたが、掃除が行き届いていて、とてもきれいな学校だと言っていました。

○高学年ともなると難しくなってくる算数の授業を、少人数制にしてくださっているのは、とてもありがたく思います。

○それぞれの目標や資料など、きれいに掲示されていて、とても見やすかったです。「自立」や「身の回りの整理整頓」を目標にしている児童が多く、学校全体で目指すものがはっきりしているのだなあと感じました。グループ活動の様子から、子どもたち同士の仲の良さ、先生への信頼感が感じられました。

○子どもたちが素直に取り組み、仲良く発表し合っている姿が微笑ましく、楽しませていただきました。帰りの挨拶も元気いっぱい、クラスの雰囲気もとても良いと感じました。6年となり、残り少なくなりつつある授業参観ですが、温かな空気が流れているこの学校の雰囲気が大好きです。次回も楽しみにしています。

～学校公開アンケート結果～ 回答数 308/330 回収率 93%

- | | |
|-------------------------------|--------|
| 1 子どもは、学習に集中して取り組んでいる。 | 91. 9p |
| 2 子どもは、学級でまとまって楽しく活動している。 | 94. 1P |
| 3 子どもは、挨拶などの礼儀を身に付け落ち着いている。 | 91. 2P |
| 4 教師は、授業展開を工夫し、学力向上の努力をしている。 | 93. 6P |
| 5 作品や掲示物が工夫され、学習環境が整っている。 | 95. 8P |
| 6 教室は整理・整頓され、廊下などの清掃が行き届いている。 | 95. 5P |

◆集計方法：4：そう思う（100P） 3：ややそう思う（75P）

2：あまりそう思わない（25P） 1：思わない（0P）

P・・・（4の総数×100+3の総数×75+2の総数×25+1の総数×0）÷
有効回答数

7月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
	1	2教員午後研修 B時程3校時下校	3 4年南極クラブ	4 七夕まつり 避難訓練	5 みたまま祭り 文教まつり	6休業日
7	8 個人面談13:00～16:00 B時程	9 4年服のチカラ	10	11	12	13 終業式
14	15海の日 夏休み(～8月25日) 4, 5, 6年夏季補習	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
	オーストラリア短期留学(20日～27日)					
28	29	30	31			

7月の生活目標

重点目標 <文教っ子八ヶ条 第4条 人のせいではなく、自分で責任がもてること。>

◎ 言葉づかいに気をつけよう

- ・相手を思いやった言葉づかいをする。
- ・電車内で周囲に迷惑をかけない。
- ・ハンカチとちり紙を身に付け、手洗いをする。

◎ 登下校のルールとマナーを守ろう

- ・その場に応じた正しい言葉づかいをする。

◎ 言葉でけんかにならないためには (文責：教頭 田中 宏一)

気持ちを伝えるって難しいですね。マスクを外す生活があたりまえになり、表情が見えることが多くなると、うまく気持ちが伝わっているか不安になることが多くなりました。気持ちが伝わりにくいと思うことも幾度とあります。今までも、その場を和ませるために笑顔を見せると、「真剣に話しているのに笑わないで」と言われたことも何度もあります。気持ちを相手に伝えるということは本当に難しいことだと思います。

ところで、みなさんは、お友達から、「今日は遊べない。」言われたら、どんなことを思いますか。『なにか用事かな。』『忙しいんだな』と思う人がいるでしょう。『誰かと約束していたのかな。』と思う人もいるでしょう。なかには、『なんか、避けられているのかな。』『嫌われているのかも』『怒っているかな』と思う人がいるかもしれません。言葉を、相手がどのようにとるか、人それぞれなのです。

でも、怒ってもいないのに伝え方によって、相手に『怒っているのかな』と思われるのは、さげたいですね。どのように言えばきちんと相手に伝わるのでしょうか。きちんと相手に気持ちが伝わるために3つのことを意識してみましょう。

1つ目、『相手を見て、表情をつけて話しましょう』

下を向きながら、無表情でお話されても、なかなか気持ちは伝わるものではありません。【目は口ほどにものを言う】です。私は特にこれは気を付けています。

2つ目、『きちんと理由も、付け加えましょう』

「今日は用事があるから」とか「もう、違う約束があるから」ときちんと理由も話しましょう。できない約束をできると言うことは、それもけんかの原因になります。

3つ目、『相手を思いやった、言い方をしましょう』

相手は、どきどきしながら声をかけているかもしれません。ぶっきらぼうに答えることで、いらぬ誤解を生むこともあります。

私は毎年、この時期に文教っ子八ヶ条にあわせて、このことを話題にあげています。年齢や成長にあわせて、感情も成長します。「以前はそうは思わなかった」と思うことも成長のひとつです。毎年一度は、自分の気持ちに向き合ってみるのもいいのかもしれないですね。

「そんなつもりじゃなかったのに…」という、誤解から始まるけんかが起きないように、夏休みまでの13日間、相手を思いやった言葉づかいと、場に応じたあたたかい言葉づかいをして、楽しく過ごしましょう。

